

木曽川水系河川整備計画 たたき台(骨子)

《参考資料》

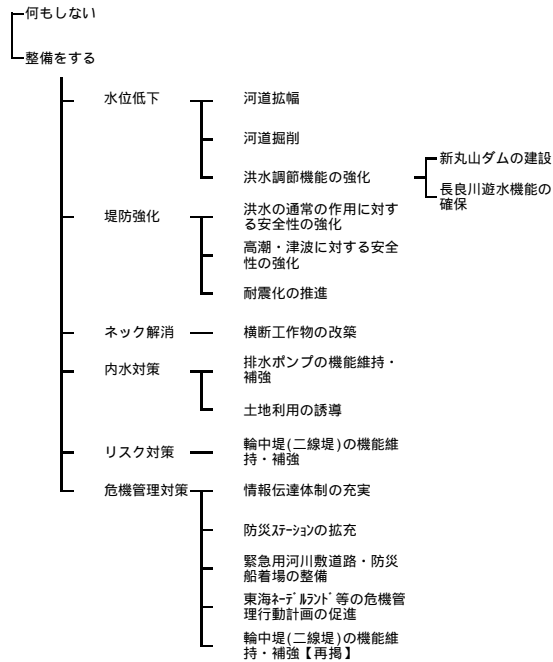
- 主な整備メニュー(案)イメージ -

平成19年9月15日

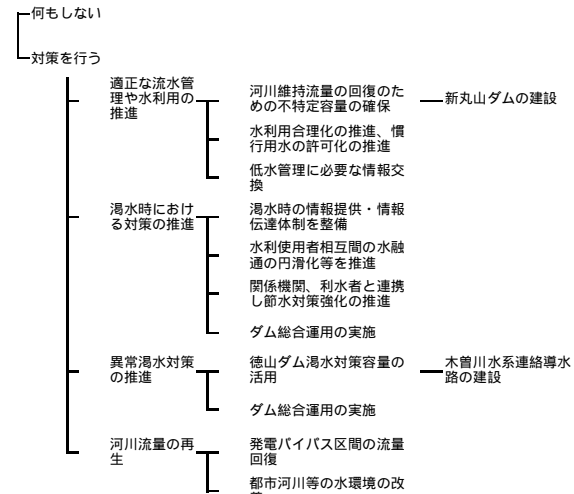
主な整備メニュー（案）一覧

政令第10条の3項、二 河川の整備の実施に関する事項

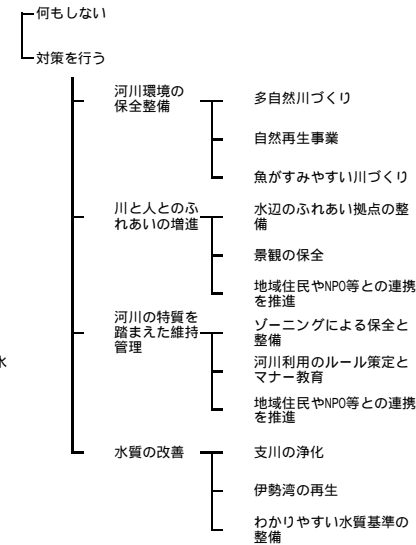
【治水】



【流水管理・水利用】



【環境】



【維持管理】



治水の主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

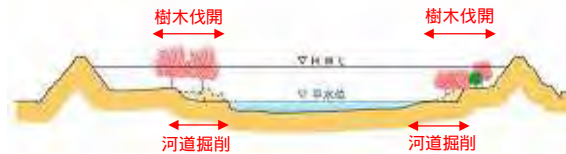
水位低下

河道拡幅・河道掘削

川の断面（河積）を大きくすることにより、より多くの洪水を流下させる。

〔例：河道掘削と樹木伐開〕

- 河道掘削や洪水の流下の支障となる樹木の伐開を行い、川の断面（河積）を大きくする。



河道掘削（揖斐川 37.0k付近）

〔例：引堤〕

- 現在の堤防の外側に新しく堤防を築き、従前の堤防を取り除くことによって川幅を広げる。



引堤（牧田川・杭瀬川背割堤）

洪水調節機能の強化

洪水時に洪水流量の一部を貯留させることで洪水流量を低減させる。

洪水調節施設の整備



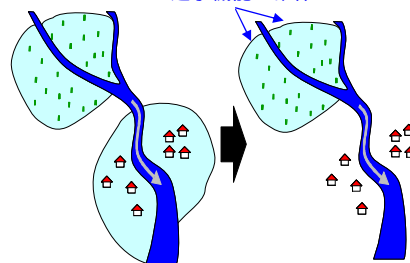
新丸山ダム（建設中）
《木曾川》



徳山ダム（試験湛水中）
《揖斐川》

遊水機能の確保

遊水機能の確保

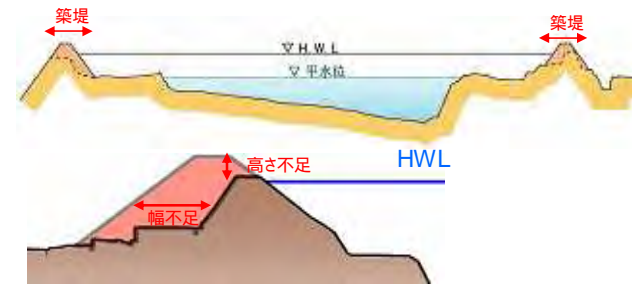


堤防強化

洪水の通常的作用に対する安全性の強化

高さ・幅不足対策

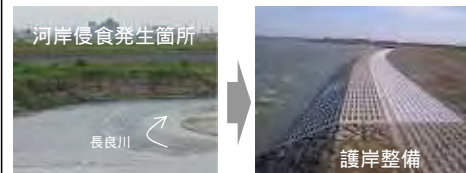
堤防の高さや幅が不足している箇所については、洪水時に水が堤防から溢れにくくし、また、洪水時でも壊れないよう安全にするため、堤防の整備を行う。



築堤（杭瀬川 5.6k付近）

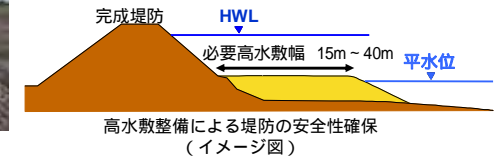
堤防等の侵食・洗掘対策

水衝部において河岸侵食や局所洗掘が生じている箇所については、護岸整備や根固による補強を行うとともに、必要高水敷の確保を行う。



護岸整備による侵食防止対策

高水敷の整備

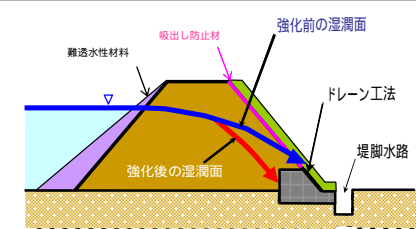


浸透・漏水対策

堤防への浸透や漏水が発生している箇所については、ドレーン工法等堤防の強化対策を行う。



堤防からの漏水（牧田川右岸9.0k）



浸透対策のイメージ図

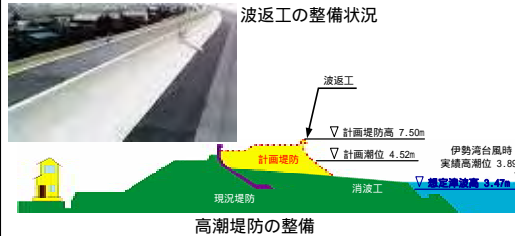
治水の主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

堤防強化

高潮・津波に対する安全性の強化

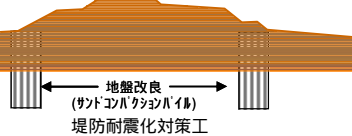
伊勢湾台風が満潮時に再来した場合においても被害を防止するため、高潮堤防の暫定区間において波返工や消波工の整備を行う。
計画堤防高(T.P.7.5m)は、東海・東南海クラスの地震発生後の想定津波高(T.P.3.47m)よりも高く、高潮堤防を整備することによって津波に対しても安全となる。



耐震化の推進

濃尾平野の表層は緩い砂層で覆われており、東海・東南海地震では地震動が長い。ため、堤防と基礎地盤の液状化により、堤防の変形・沈下が想定されることから堤防の耐震化対策を推進する。

濃尾地震による堤防の被害状況



ネック解消

洪水流下の支障となっている橋梁等の横断工作物については、施設管理者と調整しつつ改築等を行う。



架け替え前(構造令不適合橋梁)



架け替え後

内水対策

被害実績のある洪水が再来しても床上浸水等の被害を防止するため、排水ポンプの整備・増強を行う。
低地への宅地化等により新たな内水被害が生じることのないよう、流域内における土地利用規制や河川情報の提供などについて関係機関と連携して行う。

排水機場の整備イメージ

境川排水機場

ポンプ施設の更新

セラミック軸受改造

リスク対策 ・ 危機管理対策

ソフト対策

情報伝達体制の充実

洪水、高潮、地震・津波などによる被害の未然防止及び軽減を図るため、地方自治体などの関係機関と連携して情報収集、伝達等を実施するとともに、地域住民の防災意識の向上を図る。



伊勢湾台風時の水位標(長島町総合支所)



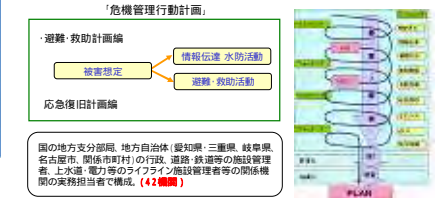
洪水ハザードマップの作成支援(各務原市)

危機管理行動計画の促進

大規模災害を想定した危機管理行動計画を策定するなど、関係機関と連携した総合的な被害軽減対策を推進する。

平成18年1月「ゼロメートル地帯の高潮対策検討委員会」の提言
大規模な広域災害に対して被害軽減を図るため、関係機関が連携・共同して取り組む実践的なオペレーション(作戦行動)計画の策定

東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会(作業部会)を設置(平成18年11月)



東海ネーデルランド危機管理行動計画

ハード対策

防災ステーションの充実、緊急用河川敷道路・防災船着場の整備

洪水や地震等が発生した場合にも、迅速な復旧活動等を行うため、災害時の活動拠点となる河川防災ステーションの整備を行う。
地震時に市街地で壊滅的な被害が生じた場合、物資などを運搬するため、緊急用河川敷道路や陸上輸送の代替ルートである水上輸送用の防災船着場の整備を行う。



河川防災ステーション(木曾川高畑地区)



緊急用河川敷道路整備イメージ図



防災船着場(長良川左岸12.4k)

輪中堤(二線堤)の機能維持・補強

計画規模を上回る洪水や整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合の被害軽減対策として、二線堤、輪中堤の活用を検討する。



木曾川三派川地区の二線堤



S51.9洪水の状況
輪中堤の機能

流水管理・利水の主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

適正な流水管理や水利用の推進

渇水時における対策の推進

異常渇水時の対策の推進

新丸山ダム

河川環境の改善
〔木曾川〕

新丸山ダムの整備による不特定容量の確保により、既設の阿木川ダム・味噌川ダムの不特定容量と合わせて木曾成戸地点において維持流量の一部を回復。〔40m³/s〕



新丸山ダム (建設中)

- ・洪水調節
- ・不特定補給
- ・発電

木曾川水系連絡導水路(徳山ダムの活用)

異常渇水時¹における河川環境の改善
〔木曾川〕

木曾川水系連絡導水路の整備により徳山ダムの渇水対策容量から導水することで、木曾成戸地点において、異常渇水時¹においても維持流量の一部を回復。〔40m³/s〕

〔長良川〕

木曾川水系連絡導水路の整備により徳山ダムの渇水対策容量の水の一部を長良川を經由して木曾川に流すことで、忠節地点において、維持流量の一部を回復。

1/10規模の渇水時〔約20m³/s〕 異常渇水時¹〔約11m³/s〕

新規利水の補給

徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4m³/sを導水。



徳山ダム (試験湛水中)

- ・洪水調節・不特定補給(既得用水、河川環境の維持)
- ・異常渇水時¹における緊急水の補給・新規利水・発電

木曾川水系連絡導水路 (実施計画調査中)

- ・異常渇水時¹の緊急水導水による河川環境の改善等
- ・新規利水の導水

1:平成6年渇水相当

適正な流水管理・水利用の推進

水系全体の総合運用による水資源開発施設の効率的・効果的な水供給の実施。
利水者相互間の水融通の円滑化を推進。
関係機関、利水者と連携した節水対策強化の推進。
水利用の合理化の推進、慣行用水の許可化の推進。

情報提供等

低水管理に必要な情報交換。
渇水被害等を最小限に抑えるため、情報提供、情報伝達体制を整備。

河川流量の再生

発電バイパス区間の流量回復

発電等の取水による減水区間については、水利権の期間更新時に発電事業者と調整し、河川維持流量の確保。



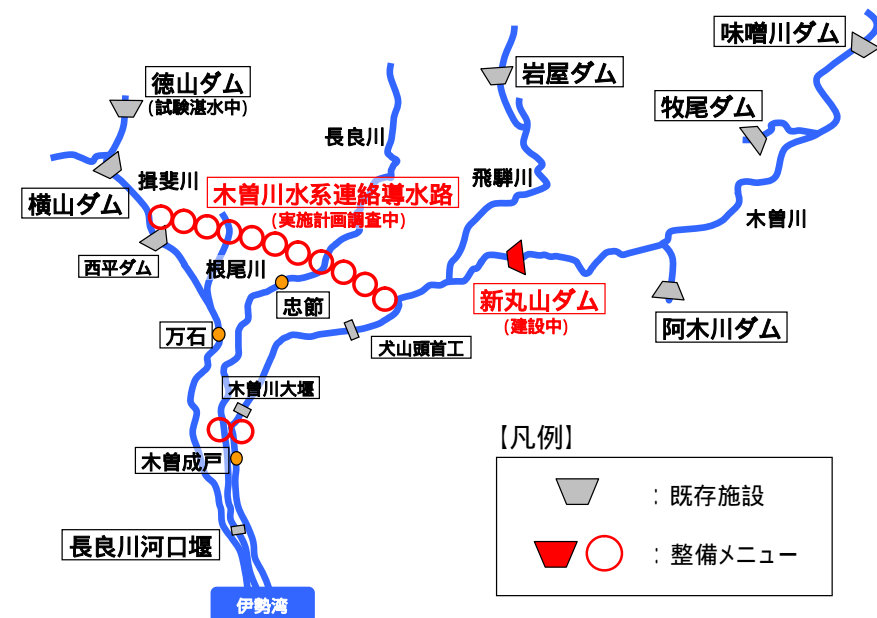
放流前



放流後

都市河川等の水環境の改善

都市河川等において、水質、親水空間、景観、修景等の生活環境や自然環境の維持・改善(健全な水循環の構築)。



環境の主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

河川環境の保全整備

多自然川づくり

治水対策と連携した自然再生

川の断面が不足し、洪水を安全に流下することが困難な区間では、河道掘削や樹木伐開を行う必要がある。

河道掘削や樹木伐開の実施にあたっては、実施箇所の状況に応じてワンド等の湿地環境、砂礫河原の再生に努める。

河川改修により、やむを得ずワンド等が消失する場合には、出来る限り別の箇所において再生に努める。河道掘削を行う場合には、アユの産卵場となる瀬等に影響がないように出来るだけ平水位以上の掘削とする。



河道掘削による湿地の再生事例（揖斐川35km右岸付近）

魚のすみやすい川づくり

連続性の改善

関係機関と調整しながら、課題のある堰や床固等において魚道の設置・改善等に努める。実施に際しては、アユ等の回遊魚のみならず、移動能力の低い生物にも対応した改善に努める。



魚道の改善事例（階段式パノラマ魚道）

（揖斐川第7床固魚道，揖斐川47.0km付近）

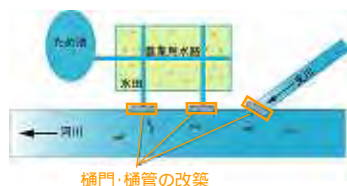


移動能力の低い生物にも対応した魚道整備事例（せせらぎ魚道）

（長良川河口堰）

水域ネットワークの再生

施設管理者と調整しながら、課題のある樋門・樋管の落差の解消や魚道の設置に努める。



樋門・樋管の改築を行うことにより、河川・支川・水田・農業用水・ため池等のネットワークを再生

水域ネットワークのイメージ



樋管の魚道改造事例

（出典：身近な水域における魚類等の生息環境改善のための事業連携方策の手引き）

自然再生事業

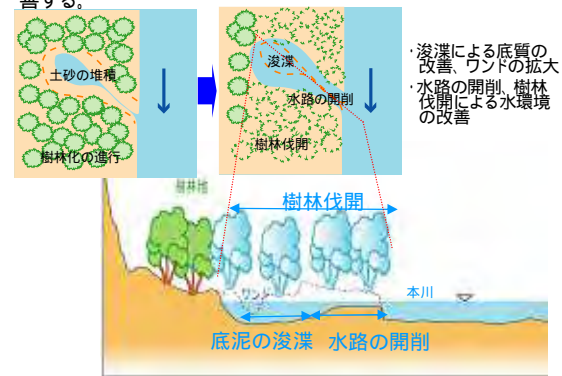
現存する良好な環境を保全する。

減少又は劣化した、ワンド等の水際湿地、砂礫河原、ヨシ原、干潟等について、重要度に応じて段階的に再生、改善等の対策を実施する。

現状良好な環境、再生、改善箇所の環境を良好な状態に保つため、調査等監視を継続し、必要に応じて保全のための対策を講じる。

ワンドの保全・再生

環境の悪化しているワンドについて、周辺樹木の伐開、掘削及び底泥の浚渫等により、環境を改善する。



ワンド環境の改善・再生のイメージ



水制工を利用したワンドの再生イメージ

砂礫河原の保全・再生

ユアジサシ等の繁殖地に利用されているが、草地化、樹林化が進行している砂礫河原について、樹木伐開・除草、及び表土のはぎ取り・掘削により、保全・再生する。



砂礫河原の再生のイメージ

砂礫河原の再生事例（狩野川自然再生事業）

環境の主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

河川環境の保全整備

自然再生事業

干潟・ヨシ原の保全・再生

治水との整合を図りつつ、ヨシの植栽、水制の設置・土砂の投入などにより干潟・ヨシ原の再生に努める。



浚渫土を用いたヨシ原の造成
(長良川6km付近)



水制工を用いた干潟の造成
(揖斐川2.6km付近左岸)

瀬・淵の保全・再生

良好な状態の瀬・淵は極力保全し、治水対策として河道掘削を行う必要がある場合には、アユの産卵場となる瀬等に影響がないように、できるだけ平水位以上の掘削とする。

瀬・淵の再生に向け、掘削等により澇筋を多様化するなど、瀬・淵の再生を図る。

対策前



寄州が樹林化し流路が単調化



対策後

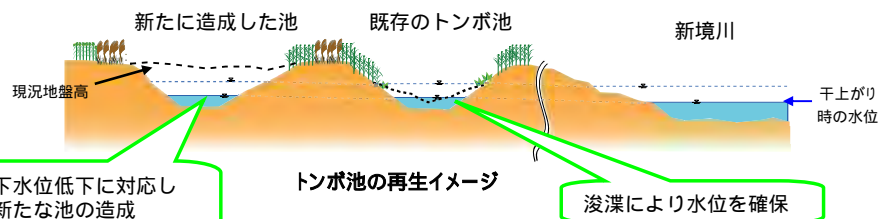


寄州を掘削し、澇筋を多様化して瀬・淵の再生を図る

寄州の切下げ等による瀬・淵の再生事例 (北川河川激甚災害対策特別緊急事業)

トンボ池の保全・再生

干上がり著しいトンボ池においては、原因である地下水の低下に対応するため、池の浚渫や新たな池の造成を実施する。



川と人とのふれあいの整備

水辺のふれあい拠点

水辺プラザ

地域及び河川の特徴を活かした交流ネットワークを構築するため、市町村等と連携し、親水や自然の学習等の機能を有する拠点を整備する。



一宮水辺プラザ：花火大会



一宮水辺プラザ：親水護岸

水辺の楽校

子どもたちの河川利用の促進、体験活動の充実を図る事を目的に、市町村と連携し、堤防の緩傾斜化や、水辺に近づける河岸等を整備する。



河川利用促進のための親水護岸



体験活動を行うためのワンド
平田水辺の楽校 (平田リバーサイド)



憩いの場や遊び場としての散策路

拠点のネットワーク化

水辺のふれあい拠点のネットワークの形成を図るため、拠点間を結ぶ遊歩道・散策道、サイクリングロード、舟運のための船着場を整備する。



遊歩道イメージ



サイクリングロードイメージ



舟運のための船着場整備イメージ

地域住民やNPO等との連携

地域の交流

地域住民やNPO等と連携し、地域住民が川に親しみ、川への理解を深める環境教育や自然体験活動等の取組を実施する。



地域住民による水生生物調査

- 木曽川・新木曾川橋付近 -



筏を使った体験学習

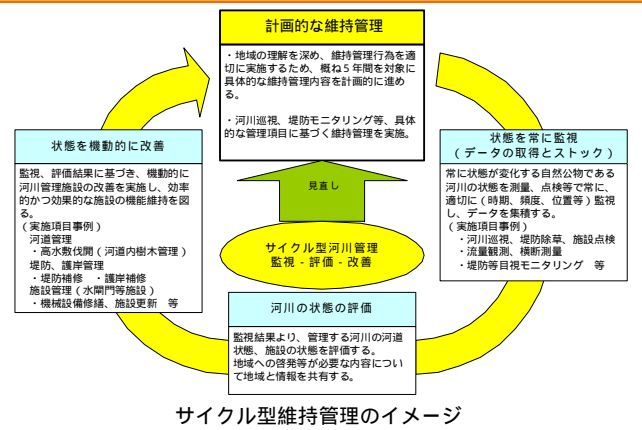
- 長良川・船頭平閘門付近 -

維持管理の考え方と主な整備メニュー

政令第10条の3項、二

維持管理の考え方

維持管理の実施にあたっては、木曾三川の河川特性を十分に踏まえる。河川や河川管理施設等について調査・点検・修繕等の維持管理を適切に進めるため、計画的に維持管理を行う。河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく計画の見直しを一連のサイクルで行い、効率的・効果的に実施する。



サイクル型維持管理のイメージ

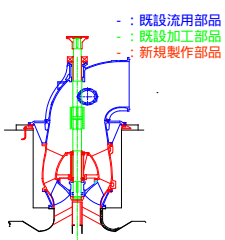
維持管理の主な整備メニュー(案)

堤防の維持管理

日常の巡視・点検による堤防の状況把握と、洪水時の早期発見による不具合箇所の適切な対応と機能を維持。堤防の機能及び河川環境の保全のため堤防除草等による適切な管理を実施。

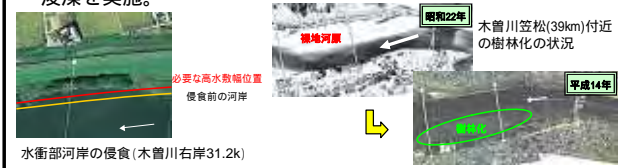
河川工作物の維持管理

点検・整備による構造、機能、強度等の確保。施設の信頼性の向上と長寿命化に向けた維持・補修・更新。コスト削減・維持管理費抑制に努める。



河道の維持管理

流下能力確保、河川管理上の対策が必要な区間は、河川環境や河岸侵食等の影響も考慮し、伐開等の樹木管理を実施。洪水発生等による堆積土砂等は河川環境も考慮し適切な掘削、浚渫を実施。



河川維持管理機器の維持更新

維持管理機器は、常に最適な状態で観測できるよう保守点検・整備を行いデータの蓄積を図る。情報一元化による管理の効率化の実施。

【現在の整備状況】

雨量観測所	119箇所
水位観測所	64箇所
CCTV	215台
光ケーブル延長	約290km

許可工作物の適正維持管理指導

定められた許可条件に基づき適正に管理されるよう許可工作物の施設管理者へ適正な管理・改築の指導を行う。



流下物の処理

流下物や流木等は、環境上の影響にも配慮しながら、適切に除去を実施。流木等の有効活用やリサイクル等の推進。

河川の清潔の維持

ゴミ等の不法投棄等の処理は、自治体等関係機関と連携し速やかな撤去処分を指導。警告看板や監視カメラの設置等、監視体制強化。不法耕作地、不法占用は、撤去及び原状回復の指示による違反行為の是正・適正化。



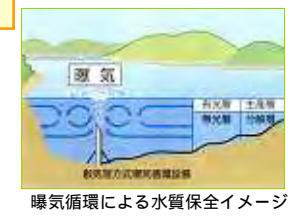
ダム本体・観測機器等の維持管理

老朽化や破損等の状況を的確に把握し、計画的に補修等の実施。延命化。本体や観測機器等の維持更新等は、効果的・効果的な管理によりコスト削減。



ダム貯水池の維持管理

定期的に貯水池内の土砂堆積状況を把握し、適切に浚渫等を実施し、有効貯水量を確保。流木等の処理は、関係機関と連携し、有効資源等として活用。水質維持のため定期的に監視。



危機管理対策

洪水、高潮、地震・津波などによる被害の防止及び被害の最小化を図るため、光ファイバー網などの情報基盤を活用し、リアルタイムに河川情報の収集と伝達。各水防管理団体と水防資機材の備蓄を充実。災害発生時の水防活動の支援と円滑な避難行動支援体制の構築。

XI. 地域と連携した取り組み

地域との連携を進め、継続的に活動できる仕組みづくり、河川管理にかかわる情報収集・伝達のネットワークの拡充。防災拠点等を活用し、交流の場づくりなどを支援。

